

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】平成 21 年 6 月 25 日 (2009.6.25)

【公開番号】特開 2008-49885 (P2008-49885A)
【公開日】平成 20 年 3 月 6 日 (2008.3.6)
【年通号数】公開・登録公報 2008-009
【出願番号】特願 2006-229124 (P2006-229124)
【国際特許分類】

B 6 0 R 3/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 13 日 (2009.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 スロープ部と該第 1 スロープ部にスライド移動自在に連結された第 2 スロープ部を有し、第 1 スロープ部に第 2 スロープ部を重ねたスロープ収納状態で車室内に搭載可能であるとともに、第 1 スロープ部が第 2 スロープ部の車両側に隣接して配置されたスロープ展開状態で車両から地上に下ろし車椅子等の出し入れを可能にするスロープ装置において、

前記第 1 スロープ部には脚部が設けられ、第 1 スロープ部に第 2 スロープ部を重ねたスロープ収納状態で車両から地上に下ろした場合は、前記脚部の下端が地上に接すること、第 2 スロープ部の反車両側端部と地上とが接することなく隙間が生じる構成とし、

スロープ収納状態から第 2 スロープ部をスライド移動させて引き出したスロープ展開状態で車両から地上に下ろした場合は、前記脚部の下端が地上に接することなく隙間が生じる構成としたことを特徴とする車両のスロープ装置。

【請求項 2】

第 1 スロープ部に第 2 スロープ部を重ねたスロープ収納状態で地上に下ろした場合は、第 2 スロープ部の反車両側端部と地上との隙間を 5 mm 以上に設定するとともに水平面に対するスロープ角をスロープ展開状態で車両から地上に下ろした場合のスロープ角よりも 2 ° 以上大きくしたことを特徴とする請求項 1 に記載の車両のスロープ装置。

【請求項 3】

第 2 スロープ部をスライド移動させて引き出したスロープ展開状態では、前記脚部が第 2 スロープ部のスライド移動に連動して回動移動した折り畳み状態となることを特徴とする請求項 1 に記載の車両のスロープ装置。